

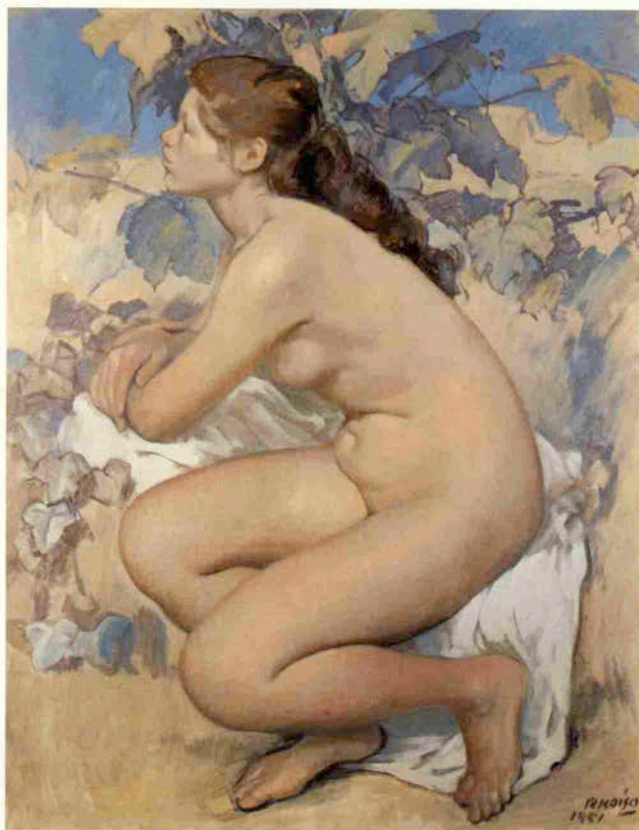
THE KOBEC CO 7

JULY 1979 NO. 219 神戸っ子

神戸っ子 昭和40年1月20日第3種郵便物認可

昭和54年7月1日印刷 通巻219号

昭和54年7月1日発行 毎月1回1日発行





 BENIYA

燃える夏に ひるがえ 美しさよ翻れ!

しなやかに、そしてちょっと色っぽく
 あなたを翻さずにはおかない《ベニヤ》
 のあざやかなコレクション。

シティ感覚で自由な着こなしが楽しめる
 リゾートウェアを中心に、サマーファッ
 ションのかずかずかいまでそろいました。
 この夏、あなたがきつと出合うすてきな
 できごとを予感させるかのようなサス
 ペンスな色とデザイン。

燃えたいあなたをかきたてる夏のあら
 しです。

 LADIES SHOP
 the ladies fashion of the four seasons. creative beniya

夏を彩るタオルたち



〈豊かなタオルライフ〉

クオリティライフの提案です

神戸発、カネボウベルイェシー
よりおくる9つのブランド

Jacqueline KARLSON

Christian Dior

PLAYBOY

HANAE MORI

Felix Bühler

vega original

MOCKMOON

Calliope

Mia original



生活空間のコーディネート
カネボウベルイェシー株式会社

本社 神戸市生田区三宮町1-17-4(セクター方武2)
〒650 TEL. (078) 392-2101
東京本部 東京都港区南青山3-1-1 3D青山ビル
〒107 TEL. (03) 403-3421
札幌支店 札幌市豊平区中の島1条10丁目N1マンション
〒062 TEL. (011) 822-9581
西沢支店 神戸支店 神戸市生田区三宮町1-17-4(セクター方武2)
〒650 TEL. (078) 392-2101
福岡支店 福岡市中央区薬院2-14-28
〒810 TEL. (092) 751-6912

バスケット / 磯川工芸店

サファイヤ

涼風そよぎ・藍・鮮やかなりき



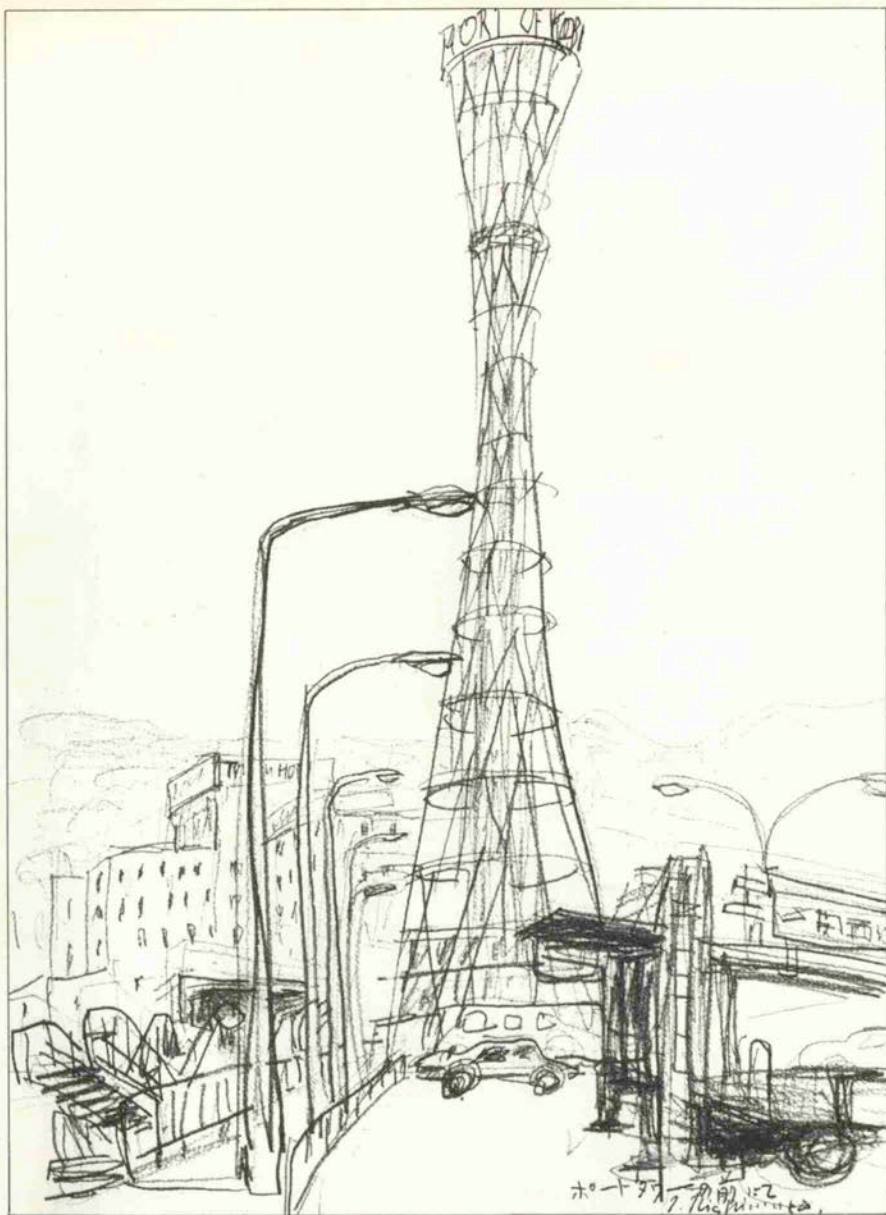
.. 宝飾店
Tajima
タジマ

元町2丁目 TEL 331-5761 代表

タジマでは宝石の鑑定を無料でご相談に
しておりますのでお気軽にご利用下さい
定休日は水曜日です

スケッチブックから

● 僕の見た神戸〈7〉ポートタワーの前にて



絵・西村 功

暑中

お伺い申し上げます

盛夏



神戸割烹

お可川

〒650 神戸市生田区北野町1丁目115-2 ☎神戸(078)222-3511(代)

南洋真珠のペンダント K18、ダイヤモンド12個 合計0.93ct ¥1,860,000 デザイン 福留洋美

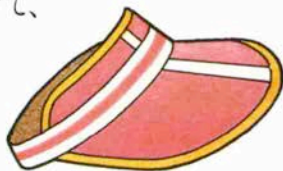
Designed By Tasaki

札幌・東京・横浜・名古屋・大阪・神戸・福岡・香港・お問い合せ、カタログのご希望は、〒100 東京都千代田区永田町2-4-3 永田町ビル内 田崎真珠販売企画室 TEL. 03-580-1688までご連絡ください。あなたの真珠は、パールマークの店。



南からの風、小麦色だって。

グラマラスな健康美を発揮させましょう。
もう、毎日がリゾート気分。大丸から
常夏のメッセージにのせて、
'79サマーのすべてを
お届けします。



- サンドル・バッグ・アクセサリー —— 1階
- リゾートドレス・サマーカジュアル —— 2階
- スイムファッション・スポーツウエア —— 3階



神戸もとまち

大丸

(078)331-8121



英語力を活かして

荒牧保子 第9回代表クイーン神戸

カメラ・米田定蔵

言葉使いや仕草に育ちの良さが感じられるお嬢さん、カメラを向けるとキュッと口元に力が入る。三人姉妹の末っ子で一番上のお姉さんもかつてクイーン神戸に選ばれた。二人のお姉さんは考えてから行動するタイプだが、保子さんはまず行動に移して後で考える方だとか。取りつきにくい美人というより、明るく話し易い可愛い女の子。

松蔭女子中高時代には、ソフトボール部に籍を置き、甲南女子大へ入ってからはESSで二年間活動した。昨年の六月からは四ヶ月間アメリカ留学の機会があり、日常活動の英会話はこなせるようになった。保子さんには将来、航空会社に勤めたいという希望があり、そのためにも英語の勉強を怠らない。親元を初めて離れた留学で両親の有難みとか、自分の欠点がよくわかったという。代表クイーンに選ばれて、数々の公式行事や、使節団として海外へ出かけることは自分にとって大きなプラスになると思うし、生まれ育った神戸のことについても、勉強すべきことが一杯あると……。

お茶、お花、習字を稽古中。他に写真を撮るのが趣味。野球は巨人ファン。芸能界で好きな男性は石立鉄男や水谷豊。夏はミニスカートを好き———そういえばチャラッと見えた脚の線が綺麗でした。甲南女子大英文科四年。(東灘区在住)





●世界の子供とお弁当

ブラジル

こんにちは
ボン・ジーア

ブラジルと神戸のお付き合いは70年前のブラジル移民船第1号が神戸の港を出航した時に始まります。以来リオとの姉妹都市提携、神戸まつりのサンバパレード等々親密な関係に。

そういうブラジルのお弁当はチキン、ポテトサラダ、とうもろこしから作るパスタ、(しっぽも耳も食べてしまう)ローストポーク、それにお国柄豊富な果物と、どことなく南国の情熱を感じるもの。

写真のグスターブ(右)とイスマーはリオ生まれの神戸育ち。灘区在住



神戸肉を使った肉メシ600円



神戸・新神戸・六甲道

淡路屋

〒650 神戸市生田区相生町2

☎ (078) 351-1682

古楽器に魅せられて

北山 隆

〈古楽器奏者
大阪音楽大学助教授〉

カメラ・米田定蔵

六月十四日、神戸文化ホールでリサイタル「黄金の十八世紀リコーダー、フルート名曲選」を開いた北山 隆さん。一九四三年芦屋生まれ。芦屋高校時代にブラスバンドでいろんな楽器に触れ、同時に参加していた大阪ジュニアオーケストラと一緒にあったのが、現在テレマンアンサンブルでタクトを振る延原武春氏。音楽の道へ進むきっかけになっている。延原氏とともにテレマンアンサンブルを結成し、活動を続けながら昭和四十五年に第一回リサイタル。この年大阪文化祭賞、音楽クリティッククラブ賞を受賞。昭和四十九年大阪国際フェスティバル協会の海外派遣文化交流員として渡欧。以後リサイタルを重ね、今回で第四回目。単純な楽器だから魅力があるんです」というリコーダーを一般的にさせたバイオリン的存在の人。「次代の人たちが現われてきました。今からはこの人たちに負けないように自分のやれることに挑戦です」と話している。その意味で今回のリサイタルでは難曲に挑み、「技」で勝負した。

「体力のある限り人を楽しませる音楽を続けます。そして、神戸の異人館とかでサロン風なコンサートを定期的に開きたいんですが……誰かそんな会場を提供して下さらないでしょうかねえ」と願っている。（夙川カトリック教会にて）



湯井一葉 パリ祭を唄う

Dinner Show

'79

Le 14 Juillet

期日 7月13日(金)・14日(土) 6:30PM～
 料金 お1人様 ¥12,000(ディナー、テーブルチャージ)
 料理 フルコースディナー (2Fレストラン)



ショータイム：第1回 7:30PM 第2回 9:30PM
 1F ナイトクラブ

※前売券発売中、お早目にお申し込み下さい。

ブランドゥ ブラン パリ祭

期日 7月12日(木)～14日(土)
 5:00PM～10:00PM

料金 お1人様 ¥6,000
 (お料理、税、サービス料込)

料理 ビュッフェ料理(立食スタイル)

エンター フランス映画とエレクトーンの弾き
 テイメント 語り お楽しみ抽選会

※前売券発売中、お早目にお申し込み下さい。

レストラン
 神戸 ブランドゥブラン

年中無休
 駐車場有

ナイトクラブ・レストラン
 神戸 北野クラブ

神戸市生田区北野町1丁目64 TEL(078)231-2251

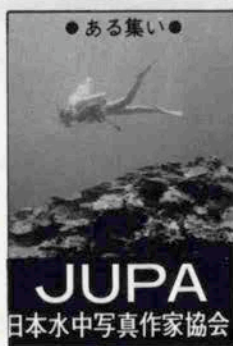
レストラン
 神戸 ブランドゥブラン

神戸市生田区京町77-1 神栄ビル7F TEL(078)321-1455



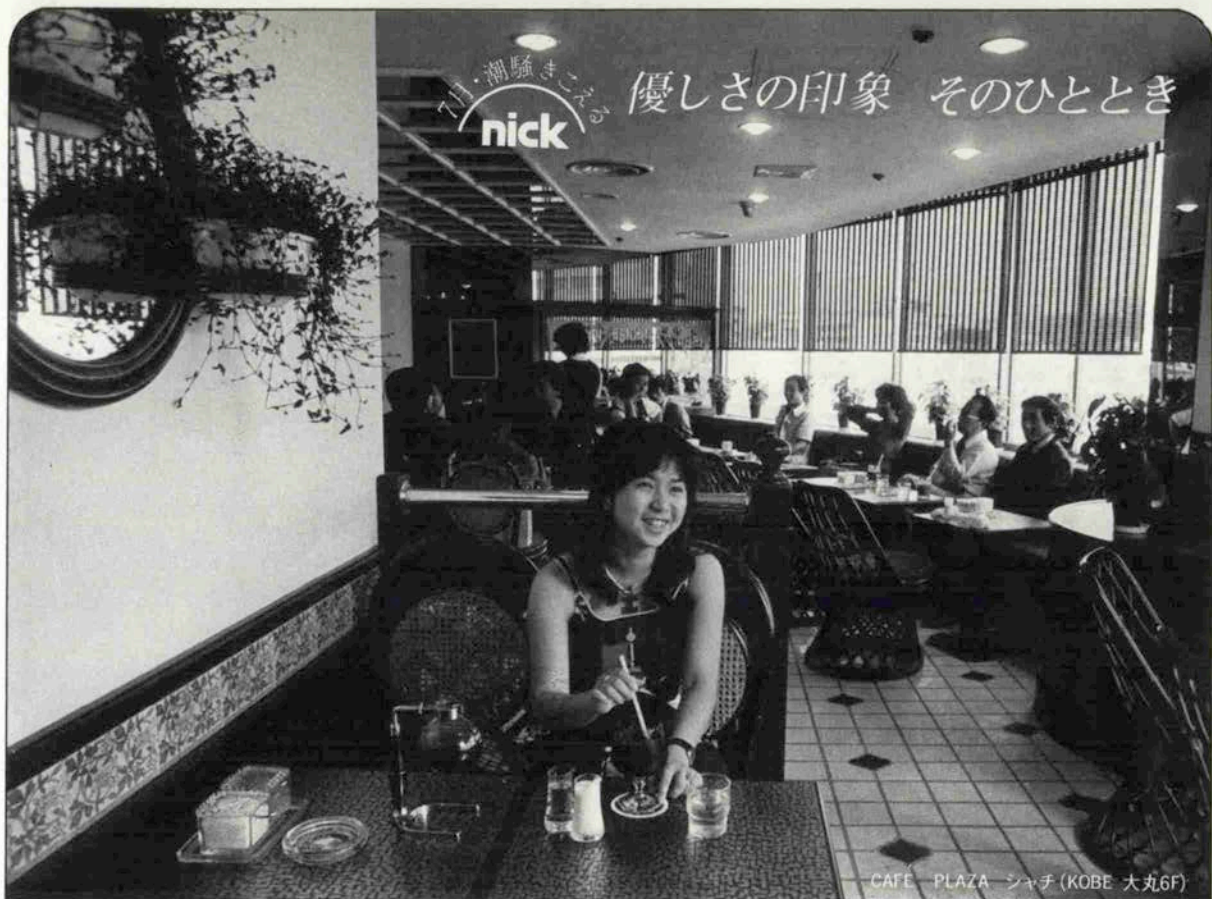
私達は愛する 海を守りたい

出逢いを大切に、自然を大切に、命を大切に——以上がこの日本水中写真作家協会のモットーである。昨春に林攸樹、藤原保之、森田純三の三氏がさんちかで催した水中写真展が反響を呼び、自分達の撮った水中写真の発表の場がほしいという同志二十余名が集まって、この会が結成された。夏の終わりに開かれた写真展を見てまた会員が増え日本全国より四十五名の海



を愛する人々が集まっている。水中写真は初めてという女性からプロとして15年という人までキャリアは様々だが、スキングダイバーというだけで気分が通じるようだ。水中撮影は世界中、四季を問わず可能だ。81年を目指して沖永良部島にシートピアを築こうとしている。自然破壊ではなく、海と魚たちを守ることが信条であることを多くの人に理解してもらいたい」と会長の林氏。夏の写真展へむけて皆、撮影に余念がない毎日だ。

(合わせて34頁もお読みください)



心の通う店創り



神戸日建

本社(設計室)	神戸市葺合区御幸通3丁目2-20	PHONE (078) 252-1321
神戸事業部	神戸市葺合区御幸通3丁目2-20	PHONE (078) 251-3525(代)
名古屋事業部	名古屋市西区牛島町5-5	PHONE (052) 561-3618
東京事業部	東京都中央区日本橋3丁目2-17	PHONE (03) 278-1369



約150人の招待客を集めてのオープニングでテープカットをする坂井時忠兵庫県知事ら

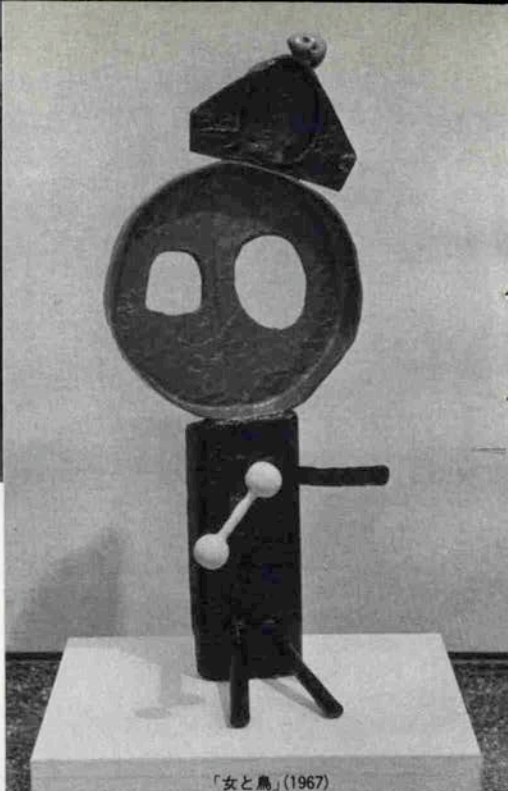
●コウベスナップ

ユーモアと冒険の世界「ミロ展」開催

20世紀最後の巨匠といわれる芸術家、ジョアン・ミロの愛と夢と幻想に満ちあふれた彫刻70点、版画46点などの代表作を集めた「ミロ展」が去る5月12日～6月10日、兵庫県立近代美術館で開催され、単純明快、天真爛漫、しかも才知のきらめきに満ちた作品で、入場者を夢の世界へと誘い、魅了させた。



ミロの夢と詩情に満ちた作品に見入る人たち。左手前の作品は「人物」



「女と鳥」(1967)

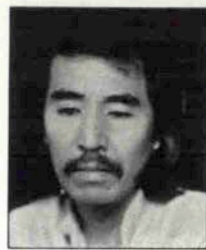


「夜の男と女」(1967)

イメージの神戸

《28》奥田 善巳

《美術家》



おくだ よしみ

一九三二年京都府に生まれる

国際青年美術家展(日本文化フォーラム賞)

現代日本美術展

現代国際彫刻展(コンクール大賞)

現代美術の動向展

ジャパン・アート・フェスティバル

アート・ナウ78 等に出品

今から二十数年前、元町の裏通りは外人バーが密集していて、丁度朝鮮戦争の最中という事もあって、米兵相手の商売で深夜迄大変な喧噪であった。当時の私は、呼名以外何一つわからないような連中と、その界限で過ごしていた。顔見知りの水商売の女達は、濃い化粧と派手な服装、ブロークンな英語で、初めの内は近寄り難く見えたが、親しくなってみると結構気のいい女が多く、私達と一緒によく遊びまわったものだった。その中に、全く田舎まるだしで、髪の毛だけトウモロコシの様に染めた若い女がいて、ある時、何かの札にと小さなリングを二つ、恥ずかしそうにくれたことがあった。

その後しばらくして、仕事や生活の変化がだんだんとこの地から私を遠ざけ、いつの間にかこの頃のことを思い出すこともなくなっていた。

数年前健康を害してから、あまり酒が飲めなくなった私は、減多に夜の街に出かけることもなくなっていたが、先頃珍しく友人達と飲みに出る機会があった。ハシゴ酒の末、たまたまそのバー街迄来てみると、人影も少なく、路地裏の店はほとんど灯が消えていた。わずかに残ったネオンの明かりの中でボール投げをして遊んでいる二人の女に、安いからと教えられて入った店も、マダムと若い女が退屈そうだった。飲み疲れてもうあまり飲めなくなった私達の少ない注文に、気持よく応対してくれて帰り際、「ありがとう」と丁寧に頭を下げてくれたまだ十代だろうと思える女の子の、人の良さそうな笑顔が、一瞬、あのトウモロコシの髪の毛の女の顔と重なり合って、久し振りに飲んだ酒で少々酔いのまわった私に、忘れていた二十数年前の神戸の夜を鮮やかに思い出させてくれた。

